

第17号はJA鳥取県大会で決議したJAグループの目的（あるべき姿）
Ⅲ「協同組合としての役割発揮」についてお伝えします！

JAグループは昨年11月21日、JA鳥取県大会を開催し、大会で向こう3年間（2019～2021年）の取り組みを決議し、3つの目的（あるべき姿）の実現に向け、さらなるJA自己改革を推し進めていくこととしました。

- 「目的Ⅰ：持続可能な鳥取県農業の実現」
- 「目的Ⅱ：地域社会への貢献」
- 「目的Ⅲ：「協同組合としての役割発揮」

JAグループは、協同組合理念である相互扶助の精神を広く伝え実践し、持続可能な経営基盤の確立と強化をはかることで、協同組合としての役割を發揮します。また、将来のJA組織の在り方を見据え、「県1JA構想」についても検討します。

目的Ⅲ：協同組合としての役割発揮

1. 協同組合の理解と理念の醸成に向けた取り組み強化

★協同組合の理解促進

○マスメディア等を通じて、協同組合の理解促進に向け情報発信します。また、他の協同組合等と連携したイベントの開催や、参加・交流に取り組み、共通課題の解決を図ります。

★協同組合理念運動の展開

○協同組合運動を実践できる組合員やJA役職員を育成し、地域を巻き込んだ協同組合運動を展開します。

2. 組織・経営基盤の強化

★組織・経営基盤の強化

○組合員のアクティブメンバーシップ（積極的なJA事業・活動への参加）を確立するとともに、青壮年・女性組織への支援の充実等に取り組むことで組織基盤の強化を図ります。

また、対話運動等による皆さんの声を運営に反映し、JAの経営基盤の強化を図ります。

★人材育成と働き方改革

○組織・経営基盤強化をすすめる人づくりに努め「働き方改革」等に取り組めます。

3. 県1JA構想の検討

★県1JA構想

○組織・経営基盤の更なる強化を目的として、近い将来の「県1JA構想」の策定をめざし検討します。

JAグループ鳥取は3つのあるべき姿の実現のため、これまでお伝えしてきた取り組みの着実な実践に取り組むとともに、組合員の皆さんに継続的に広く発信していきます。

また、これまでお伝えしてきた取り組みを通じて、夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざし、皆さんとともに農業・地域の未来を拓いていきます。